



DNW-18013 の概要

課題番号 : DNW-18013

課題名 : 障害組織修復をもたらす内因性修復性幹細胞動員促進性低分子化合物の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

湊口 信也 (国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学大学院医学系研究科)

課題番号 DNW-18013 では、障害組織修復をもたらす内因性修復性幹細胞の動員を促進する新たな組織障害治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト：
組織障害時に障害組織修復をもたらす内因性修復性幹細胞を動員する低分子化合物は虚血等による組織障害を軽減することができる。
- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス：
以下のことが PI らにより報告されている。
 - 1) ウサギ心筋梗塞モデルにおいて、内因性修復性幹細胞を静脈内に投与すると、梗塞後心筋組織で作業心筋に分化し、梗塞サイズ縮小と持続的な心機能改善をもたらした。
- 最終目標：
障害組織修復をもたらす内因性修復性幹細胞を動員する低分子化合物を創出する。

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。